

しゅうれんかい（修練会）Q&A

公益財団法人豊島修練会 2017年11月22日号（通算第23号）

子どもとのQ&A（ぎもんやしつもんのある子はすばらしいです！）

Q：今、4年生です。来年から、英語の授業が始まりますが、心配です。どのように勉強したらいいですか？（小4男子）

A：東京オリンピック・パラリンピックの年から、5・6年生は外国語科（英語）の学習が始まります。特に、心配することはありません。学校で、担任の先生と、一緒に楽しく真剣に勉強すれば大丈夫です。外国語（英語）で話したり聞いたり、書いたり読んだりする学習です。学校で頑張り、家で復習をするようにしましょう。それから、外国のことに興味を持ち、新聞やテレビなどで、見たり聞いたりしましょう。テレビの英会話の番組で学習すると結構楽しいですよ。また、町で外国人とあつたら、話しかけてみましょう。



大人とのQ&A（パパ&ママ、ジジ&ババもいつまでも好奇心を！）



Q：来年から、5・6年生で学習している外国語（英語）活動が、3年生から始まりますが、子どもがついていけるか心配です。どうしたらいいでしょうか？（小4女子の母）

A：平成32年度から小学校3・4年生では、新しく外国語活動の時間ができ、外国語（英語）の学習をすることになります。外国語（英語）を使って、コミュニケーションのできる基礎を学習します。内容は、英語を聞くこと、英語で話すこと（やり取りと発表すること）が中心です。心配はいりませんから、学校で一生懸命取り組むようにさせましょう。「今日は学校で、どんなことを学習したの？」と話題にすると、学校で集中して学習するようになります。また、TVで英語の番組を一緒に見たり、機会を捉えて、英語のことや外国のことを話題にしたりして、興味・関心を高めるようにしましょう。

学校の先生がたのQ&A（先生にもわからないことがある！）

Q：新しい小学校学習指導要領では、外国語教育が重視されますが、どのようなことに気を付けたらいいでしょうか？（経験5年目の教師）

A：来年度から3・4年生は外国語活動、5・6年生は外国語科の移行措置が行われます。文部科学省から副教材が配布されるので、その内容に即して進めるようにしましょう。



なお、「小学校学習指導要領」「同解説外国語活動編」と「同解説外国語科編」、文部科学省の「移行措置の通知」を十分に理解しておくことが重要です。

一人で悩んでいても心配ごととは解決しません。どのような内容を、どのように学習させるかを学校として検討し、模擬授業を行って研修を進めるなど、教員同士が協力して進めることが必要です。子どもに関心・意欲を高めるため、英語に関することや外国の文化に教師自身も関心をもって、子どもに刺激を与えることも大切です。

★備考★[成美教育文化会館]で検索すると、「かけはし」のほか「メッセージ」「Q&A」「ほん本ブック」をはじめ「一字荘」「至楽荘」「会館の会場貸出」など様々な情報が閲覧できます。